

2015 年度 欧州日本語教師研修会 募集要項

国際交流基金パリ日本文化会館（MCJP）では、アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）との共催で、ヨーロッパの日本語教師の日本語教授力と教師間ネットワークの向上を目的とする研修会を行っています。2015 年のテーマは『『まるごと』で考える！ 初級（A2）の課題遂行と異文化理解』です。国際交流基金が開発した新しい日本語教材『まるごと 日本のことばと文化』（<http://marugoto.org/>）を使って、初級（A2）での課題遂行と異文化理解に重点を置いた教育を実際の教育現場（授業）でどのように行っていくかを考えます。



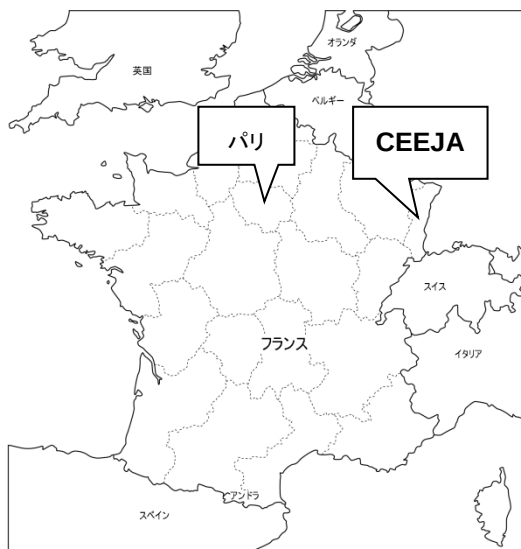
1. 研修日程

2015 年 7 月 6 日(月)～10 日(金) [7 月 5 日(日) 夕方集合]

2. 開催地

アルザス・欧州日本学研究所（フランス・コルマール(Colmar)市近郊 キエンツハイム）

Centre Européen d'Etudes Japonaises d'Alsace（CEEJA） <http://www.ceeja-japon.com/>



<http://maps.google.fr/maps?hl=fr&q=8+Route+d'Ammerschwihr+68240+KIENTZHEIM+FRANCE&ie=UTF8&ll=50.120578,7.294922&spn=12.319565,29.619141&z=5&iwloc=cent>

* 最寄り交通機関：フランス国鉄コルマール駅、ミュールーズ/バーゼル空港 もしくは ストラスブール空港

（駅、空港からの送迎があります）

3.対象者と募集人数(予定)

欧州地域の日本語教師 20 名（対象国は以下の通り）

アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、アルバニア、エストニア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、チェコ、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア

4.研修内容

(1) 研修時間割(予定)

		7/5(日)	7/6(月)	7/7(火)	7/8(水)	7/9(木)	7/10(金)	
8:30-9:30	朝食		朝食					
9:30-9:50	連絡など		開会式 オリエンテーション	連絡事項の伝達・前日のふりかえりなど				
9:50-11:10	1 時間目			10:20- 『まるごと』概要 (来嶋)	「かつどう」 (根津)	評価 (隈井)	模擬授業 準備 (斎藤他)	まとめ
11:30-12:50	2 時間目		「りかい」 (榛葉)		コースデザイン (篠崎)	12:00- 閉会式		
13:00-14:30	昼食		昼食					現地解散 [昼食つき]
14:30-15:50	3 時間目		特別講演 (内容・講師 未定)	文化 (オドリ)	〈課外活動〉 欧州評議会 訪問 (予定)	模擬授業 発表		
16:10-17:30	4 時間目			IT の利用 (村上)				
17:30-19:30			(課外活動/自由時間)					
19:30-20:30	夕食		夕食					
20:30-			(課外活動/自由時間)					

* 休憩時間は講義の都合で前後する場合があります

(2) 講師(予定)

氏名	所属	担当科目
来嶋 洋美	国際交流基金日本語国際センター	『まるごと』の概要、模擬授業
根津 誠	国際交流基金ロンドン日本文化センター	『まるごと』の「かつどう」、模擬授業
榛葉 久美	国際交流基金ケルン日本文化会館	『まるごと』の「りかい」、模擬授業
村上 吉文	国際交流基金ブダペスト日本文化センター	『まるごと』の「IT 利用」、模擬授業
隈井 正三	国際交流基金マドリード日本文化センター	『まるごと』の「評価」、模擬授業
篠崎 摂子	国際交流基金パリ日本文化会館	『まるごと』の「コースデザイン」、模擬授業
斎藤 誠	国際交流基金パリ日本文化会館	模擬授業
オドリ エヴリン	国際交流基金パリ日本文化会館	『まるごと』の「文化」、特別講演補助
未定	未定	特別講演 1
未定	未定	特別講演 2 (欧州評議会訪問の場合)

5.応募資格

以下の要件をすべて満たす方。

- ・『まるごと』を使用した授業に関心のある方(すでに『まるごと』を使用した授業を実践されている方も含みます)
- ・欧州の日本語教育機関に在籍中で、欧州での日本語教授歴が3年以上ある。
- ・現在の居住国で今後も日本語教師を続けていく意思がある。
- ・研修修了後、各国の教師会などで他の教師と研修成果を共有できる。
- ・日本語非母語話者の場合は日本語能力試験N2合格以上の日本語力がある(講義は全て日本語で行われます)。
- ・全ての研修日程に出席し、一週間の団体生活に対応できる。
(参加者は全員 CEEJA に宿泊します。ホテルなどに宿泊しての参加は認められません。)
- ・インターネットでメールのやりとりができる。

6.応募方法と結果通知

応募方法: 以下の2つの方法で応募してください(両方必要です)。

- (1)パリ日本文化会館「日本語教師向け情報」サイト上の本研修応募フォーム (<http://goo.gl/forms/IBtgv5k40X>) に必要事項を入力して、送信してください。
- (2)次の課題①と②について、別紙課題用フォームに入力し、メールに添付して alsace.mcjp@gmail.com 宛に送付してください。メールのタイトルは「2015 アルザス研修課題提出(名前)」としてください。

課題①あなたが教育現場(授業)で現在行っている(または過去に行った)初級の日本語教育の内容と、問題を感じている点を簡潔に述べたうえで、『まるごと』のどのような点に関心があるかを書いてください。(すでに『まるごと』を使用した授業を実践している方は、現在の使用状況と問題を感じている点を書いてください。)

課題②研修修了後に本研修の成果を周囲に還元する(他の教師と共有する)具体的なプランを書いてください。

応募締切: 2015年5月3日(日)

応募受付後 3 日以内に確認のメールをお送りしますので、返信が届かない場合はパリ日本文化会館にお問い合わせください。 電話: +33 (0)1 44 37 95 00 メール: alsace.mcjp@gmail.com

結果通知: 2015年5月15日(金)までにパリ日本文化会館よりお知らせします。

7.選考方法

パリ日本文化会館で応募内容を総合的に審査して参加者を決定します。採否に関するお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。参加が決定した方には詳しい情報をお送りします。

8.参加経費

①主催者提供: 研修費, 宿泊費, 朝食, 昼食

*『まるごと 日本のことばと文化 初級 1(A2) かつどう』『同 りかい』(市販版)をお持ちでない方には配布します。

②参加者負担: 夕食(1食12ユーロ(予定)、事前申し込み制), 交通費(補助あり)

- * 夕食は、周辺には食事ができる場所が少ないので、特にご予約がない場合は事前申し込みをされることをお勧めします。
- * 交通費は、原則として往復 200 ユーロまでは参加者の負担とし、200 ユーロを超える額を主催者が補助します(補助額の上限は 200 ユーロです)。ただし、参加者の国・地域の事情によって、全額を主催者が負担する場合がありますのでご相談ください。

以上